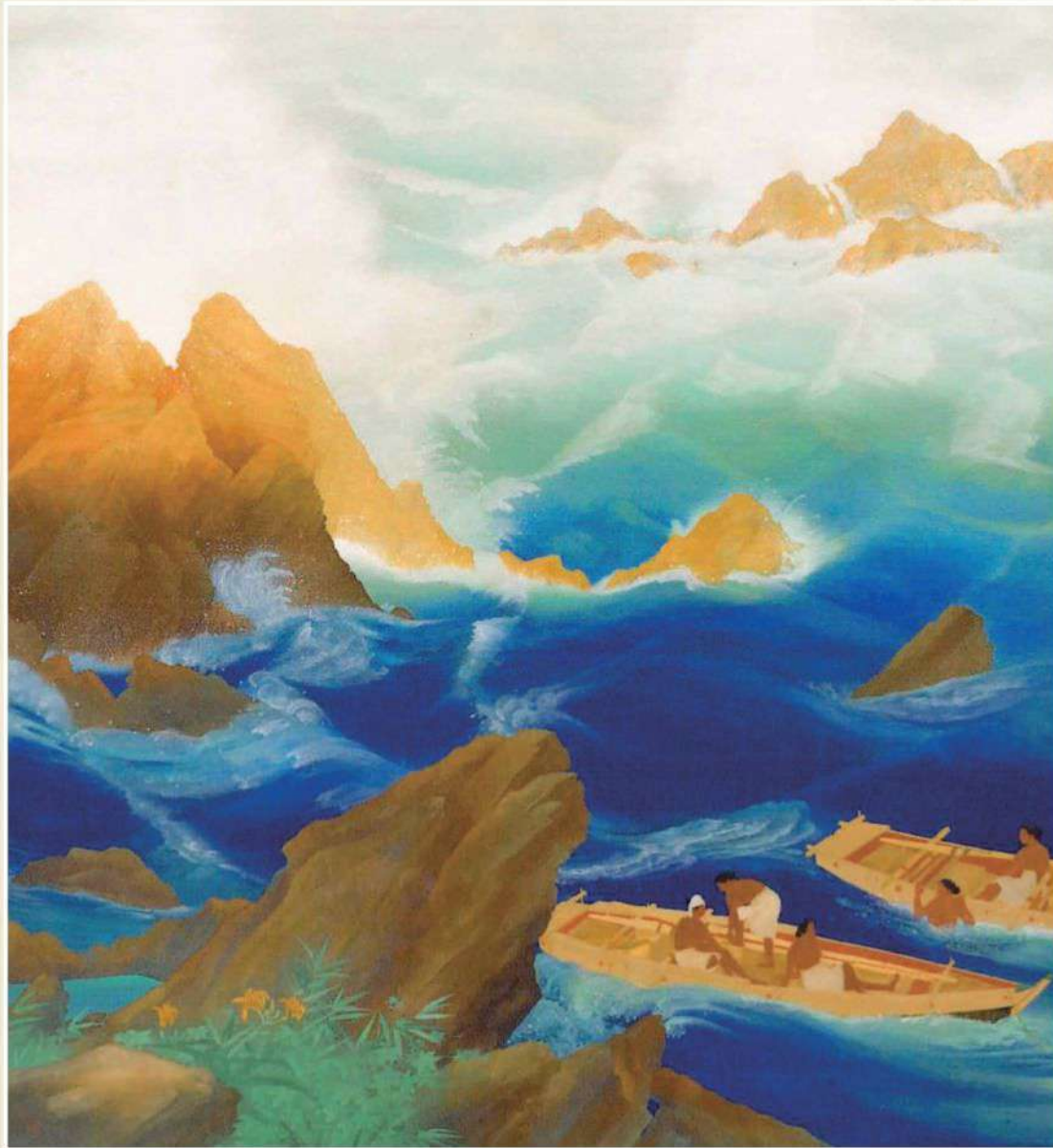


令和8年度 山口蓬春記念館 | 春季企画展

# 蓬春からの招待状

— 芸術の春、葉山を彩る画家たち

Invitation **from** Hoshun: Celebrating Art in the Breeze of Hayama



山口蓬春《潮音》昭和3年(1928) 第9回帝展 個人蔵

開館時間: 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日: 毎週月曜日(5月4日を除く)、5月7日(木)

※展示作品は都合により一部変更することがあります。  
詳しくは当館ホームページ等でご確認ください。

主催: 山口蓬春記念館・公益財団法人 JR東海文化財団  
後援: 神奈川県教育委員会・葉山町教育委員会

2026

4/4 Sat

5/31 Sun

Invitation  
to

梅原龍三郎 浦田正夫  
大山忠作 加藤栄三  
加藤東一 狩野光雅  
木村荘八 須田国太郎  
中川紀元 福田平八郎  
藤田嗣治 松岡映丘

[入館料(税込み)]

一般 / 600円(高校生以下は無料)

団体割引 / 100円割引

(20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)

障がい者割引 / 100円割引(同伴者1名を含む)

連携館割引 / 100円割引(当日観覧券のみ)

※連携館: 葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)

神奈川県立近代美術館 葉山(企画展の一般券・学生券のみ)

年間入館券 / 1,800円

※当館展覧会を何度でもご覧いただけるお得な年間入館券も発売中  
(発行月から翌年の同月末日まで有効)



山口蓬春記念館  
YAMAGUCHI HOSHUN MEMORIAL MUSEUM

※展覧会開催状況等が変更となる場合がございます。詳しくは当館ホームページ等でご確認ください。

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2320 [TEL] 046-875-6094 [FAX] 046-875-6192

[URL] <https://www.hoshun.jp/> [Facebook] <https://www.facebook.com/yamaguchihoshun/>

[Instagram] [https://www.instagram.com/yamaguchi\\_hoshun\\_official/](https://www.instagram.com/yamaguchi_hoshun_official/) [X] <https://x.com/yamaguchihoshun/>



# 蓬春からの招待状

## — 芸術の春、葉山を彩る画家たち

Invitation from Hoshun: Celebrating Art in the Breeze of Hayama



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

- 1 松岡映丘《真鶴》日本新名勝図絵より 昭和2年(1927)
  - 2 狩野光雅《波切》日本新名勝図絵より 昭和2年(1927)
  - 3 六潮会《六潮一海》昭和16年(1941) 個人蔵
  - 4 山口蓬春《初夏》扇面 昭和36年(1961)
  - 5 大山忠作《花》昭和20年代(1950年代)
  - 6 加藤東一《総がらみ》平成4年(1992)
  - 7 浦田正夫《晨》平成4年(1992)
  - 8 山口蓬春《佐与利》昭和26年(1951)
  - 9 須田国太郎《東山トンネル》昭和9年(1934)
  - 10 藤田嗣治《JEUNESSE(若さ)》昭和35年(1960)
- 湘南葉山不動産株式会社蔵 © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 B0972  
※所蔵館名のない作品は山口蓬春記念館蔵

山口蓬春は大正12年(1923)に東京美術学校を卒業後、新興大和絵会での活動において近代的な表現を伴うやまと絵の風景画を発表しました。群青や緑青などの色鮮やかな岩絵具を使用する風景画は新興大和絵の特徴と言われ、これが画壇を風靡することになります。

この手法によって描かれた《三熊野的那智の御山》(大正15年)、《緑庭》(昭和2年[1927])に続き、蓬春は《潮音》(昭和3年)を発表。やまと絵の形式を刷新する正新たな画風をうちだします。本展前半では新興大和絵会の名所図会から《潮音》(昭和3年)までの風景表現に着目します。


次に、蓬春と交流のあった作家による作品を展示します。流派を超えた親しい交流のなかで共に研鑽を積んだ、六潮会のメンバーによる作品を始め、戦後の日本画壇を率いる立場となった蓬春が、新しい日本画への道筋へと導いた次世代の画家である大山忠作、加藤東一らの瑞々しい感性をご覧ください。

また、今回展示する《JEUNESSE(若さ)》(昭和35年)も蓬春と交流のあった藤田嗣治による作品です。葉山芸術祭開催の春、葉山を彩る作品をどうぞご覧ください。

### 本展のみどころ

1. 20年ぶり! 蓬春の帝展出品作《潮音》を一般公開  
若き日の蓬春が志摩半島の名切村に取材した大幅《潮音》(昭和3年[1928]、第9回帝展、個人蔵)を通期で展示いたします。波飛沫から聞こえる轟音をお楽しみください。
2. 蓬春ゆかりの芸術家たち  
当館の開館にゆかりのある画家・大山忠作、加藤東一、浦田正夫、佐藤困夫、須田国太郎の作品を展示。彼らの作品とそのことばによって浮かび上がる蓬春像をご紹介します。
3. 藤田嗣治の少女像も  
蓬春は戦争中とともに南方に派遣された藤田嗣治と手紙のやりとりを行うなど親しく交流を持ちました。この度、その藤田嗣治作品《Jeunesse(若さ)》(昭和35年[1960])を初めて一般公開します。

### 関連イベントのご案内

<p><b>展示解説</b></p> <p>内容 展示の見どころを学芸員が解説します。</p> <p>日時 4月11日(土)、4月25日(土)、5月6日(水)、5月23日(土) 13:30~(約30分)</p> <p>定員 先着10名</p> <p>集合 開始時間までに入館手続きをお済ませの上、受付付近にお越しください。</p>	<p><b>連携企画</b></p> <p>内容 蓬春と海にちなむ展示作品を鑑賞した後、近隣の店舗で海産物とワイン(ノンアルコールを含む)を愉しみます。</p> <p>日時 5月10日(日) 15:00~17:00</p> <p>定員 先着10名(予約制)</p> <p>参加費 入館料。飲食代(2,000円、軽食+ワイン1杯付、追加は別途料金)。 ※入館料及び飲食代は各施設、店舗にてお支払いください。 ※飲食については「ami hayama」にてご用意しています。 ※仕入れ状況により海産物の産地が変更になることがあります。</p> <p>申込 事前予約制となります。詳細は当館ホームページ、SNSをご覧ください。</p>	<p><b>ワークショップ</b></p> <p><b>「銀箔に硫黄で焼いて絵を描こう」</b></p> <p>内容 蓬春の作品に使われた箔を観察した後、実際に箔を使ってオリジナル作品を作ります。</p> <p>講師 吉田愛(日本画家、当財団日本画教室講師)</p> <p>日時 5月17日(日) ①12:30~14:00 ②13:30~15:00 ③14:30~16:00 全3回</p> <p>参加費 2,000円(材料費、入館料を含む)</p> <p>定員 ①②③各回ともに先着6名 高校生以上</p> <p>申込 インターネットからのお申込みとなります。 募集開始日: 3月20日(金)</p> 
<p><b>国際博物館の日</b></p> <p>内容 国際博物館会議(ICOM)では、5月18日を「国際博物館の日」とし、博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールしています。当館でもこれを記念して、17日に来館された方全員にオリジナルポストカードを差し上げます。</p> <p>日時 5月17日(日)</p>		

※イベント等はやむを得ず中止となることがあります。最新情報は当館ホームページ・SNSをご覧ください。お問い合わせは電話にてお問合せください。

### 次回展示のご案内 夏季企画展「山口蓬春 葉山に涼を求めて」6月6日(土)~9月13日(日)



#### 交通案内

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場、又は京浜急行線「逗子・葉山駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約20分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車徒歩2分。

※当館には専用駐車場がございませんので、周辺の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

